

写真で振り返る 多田工務店の歴史

多田工務店の歴史を振り返るに当たり、多田社長にお話をお伺いしました！
これまでの多田工務店、そしてこれからの多田工務店に向けて、社長が思うこととは……？

① 1956年 創業



事務所の様子



旧本社新築当時の様子

③ 1993年

本店を岩手県遠野市綾織町上綾織 7-1 から
岩手県遠野市綾織町上綾織 2-7 に移転

1950年

1990年

2000年

2010年

2020年

② 1989年 有限会社 多田工務店 設立



創業者と前社長

2台目に購入したクレーン



⑥ 2012年

本店を岩手県遠野市綾織町上綾織 7-1
から現本店である岩手県遠野市綾織町
新里 21 地割 28-2 に移転



九州へ社員旅行

④ 2008年

岩手県紫波郡矢巾町
広宮沢第4地割 115-11
に盛岡事業所を取得

⑤ 2010年

株式会社秀明を設立
(仮設資材リース会社)

⑦ 2019年

多田秀樹から多田飛鳥へ
代表者変更

沿革を振り返り、思うこと

聞いた話によれば、創業当初は型枠材やパイプなどの材料も数が少ないなかでスタートしたそうです。今は材料も数多くあり、会社の規模も大きくなりましたが、そういった小さい積み重ねから今に至っているということをお忘れにはいけないと思います。長く働いている社員の方もかなり多くいらっしゃいますが、皆さんは大変な時期を乗り越えて多田工務店を支えてきた存在です。これまでの歴史の上に今があるということ、その歴史への敬意と感謝を大切にしていきたいと思えます。

ずっと変わらない「多田工務店」らしさ

仕事の面では、現場に責任を持って最後までやりきるところです。追加の工事などもあまり断ることなく、臨機応変に対応することができるというのは多田工務店の強みでもあります。お客様の中でもそこを評価してリピートしていただいているケースも多いと思います。また、社員の数が多い中で、たまにしか会わない相手とも分け隔てなく話す方が多いところも「多田工務店」らしさと言えるかもしれません。

今後の多田工務店

若い方々のなかで、建設業に、そして型枠に興味を持つ方を増やすことが重要になります。多田工務店を長く続けていくためにも、これまで繋いできてくれた「おもしろさ」を広めていくことができればと思います。